



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

東・名

上場会社名 株式会社 郷鉄工所 上場取引所
 コード番号 6397 URL http://www.gohiron.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 隆雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 若山 浩人 (TEL) 052(586)1123
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,009	34.9	△238	—	△276	—	△311	—
27年3月期第3四半期	2,231	—	△144	—	△170	—	△193	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △305百万円(—%) 27年3月期第3四半期 △185百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△25.74	—
27年3月期第3四半期	△16.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,915	17	0.3
27年3月期	7,279	323	4.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 17百万円 27年3月期 323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,386	29.9	110	5.1	61	△16.1	31	△46.2	3.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	12,127,500株	27年3月期	12,127,500株
28年3月期3Q	20,060株	27年3月期	19,262株
28年3月期3Q	12,107,808株	27年3月期3Q	12,108,904株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果等もあり、景気は緩やかに回復してまいりました。今後も、緩やかな回復基調が続くことが期待されますが、中国を中心とした新興国や資源国の景気減速がわが国の景気を下押しするリスクに留意する必要があると思われまます。当業界におきましては公共投資、民間設備投資は低調に推移し、厳しい状況にありました。

当社におきましては、積極的な営業活動を展開し、受注拡大に努めました結果、受注高は41億7,194万円と前年同四半期と比べ1億5,707万円(3.9%)の増加、売上高は30億956万円と前年同四半期と比べ7億7,800万円(34.9%)の増加、受注残高は33億3,083万円と前年同四半期と比べ6億6,563万円(25.0%)の増加となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

破砕粉砕機事業におきましては、破砕機本体の売上が増加いたしましたして、1億3,483万円と前年同四半期と比べ493万円(3.8%)の増収となりました。セグメント利益(売上総利益)は破砕機部品購入価格の値上がり及び値引き等により、5,049万円と前年同四半期と比べ1,627万円(24.4%)の減益となりました。

橋梁鉄構及び水処理装置事業におきましては、橋梁工事・水処理工事の売上が共に増加いたしましたして、6億4,290万円と前年同四半期と比べ4億2,655万円(197.2%)の増収となりました。セグメント利益(売上総利益)は1,402万円と前年同四半期と比べ484万円(52.8%)の増益となりました。

環境装置事業におきましては、太陽光発電所設備の売上が増加いたしましたして、10億7,941万円と前年同四半期と比べ7億5,254万円(230.2%)の増収となりました。セグメント利益(売上総利益)は太陽光発電設備の設置期間延長による外注費の増加等により、3,819万円と前年同四半期と比べ4,867万円(56.0%)の減益となりました。

ライニング製品事業におきましては、ライニング鋼管の売上が減少いたしましたして、6億4,978万円と前年同四半期と比べ1,461万円(2.2%)の減収となりました。セグメント利益(売上総利益)は、2,724万円と前年同四半期と比べ2,828万円(50.9%)の減益となりました。

役務収益事業におきましては、商業用施設の賃貸料が増加いたしましたして、1億1,720万円と前年同四半期と比べ3,251万円(38.4%)の増収となりました。セグメント利益(売上総利益)は、1億1,720万円と前年同四半期と比べ、3,251万円(38.4%)の増益となりました。

その他の機械事業におきましては、ダクト設備の売上が減少いたしましたして、1億9,949万円と前年同四半期と比べ1億1,626万円(36.8%)の減収となりました。セグメント利益(売上総利益)は、2,505万円と前年同四半期と比べ1,103万円(78.8%)の増益となりました。

その他事業におきましては、他社製品の売上が減少いたしましたして、1億8,591万円と前年同四半期と比べ、3億767万円(62.3%)の減収となりました。セグメント利益(売上総利益)は、3,781万円と前年同四半期と比べ374万円(11.0%)の増益となりました。

当期は、需要の低迷が続くなか業績の回復に努力いたしましたが、利益につきましては、営業損失は2億3,812万円と前年同四半期と比べ9,353万円、経常損失は2億7,699万円と前年同四半期と比べ1億658万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億1,161万円と前年同四半期と比べ1億1,770万円、それぞれ損失が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、59億1,573万円となり、前連結会計年度末と比較して13億6,348万円の減少となりました。これは、主としてたな卸資産が2億7,403万円増加したものの、現金及び預金が4億6,516万円、受取手形及び売掛金が8億8,092万円、未収消費税等が1億8,017万円、それぞれ減少したことによるものであります。負債は、58億9,815万円となり、前連結会計年度末と比較して10億5,771万円の減少となりました。これは、主として前受金が7,582万円増加したものの、支払手形及び買掛金が9億7,252万円、短期借入金金が1億5,200万円、それぞれ減少したことによるものであります。純資産は、1,757万円となり、前連結会計年度末と比較して3億576万円の減少となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による繰越利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績を受け、平成28年3月期の連結業績予想を現在精査中であります。業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度にマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、当第3四半期連結累計期間は営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループはこれらの事象又は状況を改善すべく、収益性の改善に向けて、工場稼働率の向上（外注費の削減による資金流出の低減）・購入品の仕入れ価格及び外注費の低減・固定費の削減を中心に積極的に取り組んでおります。また、債権の早期回収による資金の安定化にも取り組んでおり、引き続き推進することで、収益力及び資金の安定化を図ってまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	991,306	526,141
受取手形及び売掛金	3,109,596	2,228,673
商品及び製品	106,532	145,143
仕掛品	460,786	666,806
原材料及び貯蔵品	418,671	448,076
その他	260,102	121,380
貸倒引当金	△51,903	△49,161
流動資産合計	5,295,091	4,087,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	735,426	698,579
土地	665,735	655,359
その他(純額)	289,352	267,716
有形固定資産合計	1,690,514	1,621,655
無形固定資産	17,561	14,324
投資その他の資産	276,052	192,697
固定資産合計	1,984,127	1,828,676
資産合計	7,279,219	5,915,736

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,834,656	1,862,134
短期借入金	1,575,000	1,423,000
1年内返済予定の長期借入金	604,372	514,871
未払法人税等	11,823	1,020
賞与引当金	23,449	12,709
工事損失引当金	5,819	3,120
その他	311,697	449,202
流動負債合計	5,366,818	4,266,058
固定負債		
社債	65,100	50,900
長期借入金	1,019,178	1,111,891
退職給付に係る負債	77,833	70,716
資産除去債務	55,145	55,145
その他	371,795	343,446
固定負債合計	1,589,053	1,632,099
負債合計	6,955,872	5,898,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	606,375	606,375
資本剰余金	1,352	1,352
利益剰余金	△307,528	△619,143
自己株式	△2,136	△2,334
株主資本合計	298,062	△13,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,284	31,329
その他の包括利益累計額合計	25,284	31,329
純資産合計	323,347	17,578
負債純資産合計	7,279,219	5,915,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,231,557	3,009,563
売上原価	1,880,437	2,699,542
売上総利益	351,119	310,020
販売費及び一般管理費	495,713	548,145
営業損失(△)	△144,594	△238,125
営業外収益		
受取利息	148	95
受取配当金	1,246	1,445
業務受託料	2,500	555
作業くず売却益	3,748	3,458
その他	1,918	2,240
営業外収益合計	9,561	7,795
営業外費用		
支払利息	32,801	43,169
その他	2,583	3,499
営業外費用合計	35,384	46,669
経常損失(△)	△170,417	△276,999
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	290
特別利益合計	—	290
特別損失		
固定資産売却損	—	8,440
固定資産除却損	116	1,759
ゴルフ会員権評価損	—	175
災害による損失	11,355	—
固定資産撤去費用	10,700	9,014
特別損失合計	22,172	19,389
税金等調整前四半期純損失(△)	△192,589	△296,098
法人税、住民税及び事業税	1,618	1,641
法人税等調整額	—	13,874
法人税等合計	1,618	15,515
四半期純損失(△)	△194,207	△311,614
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△300	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△193,907	△311,614

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△194,207	△311,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,754	6,044
その他の包括利益合計	8,754	6,044
四半期包括利益	△185,453	△305,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△185,153	△305,570
非支配株主に係る四半期包括利益	△300	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。